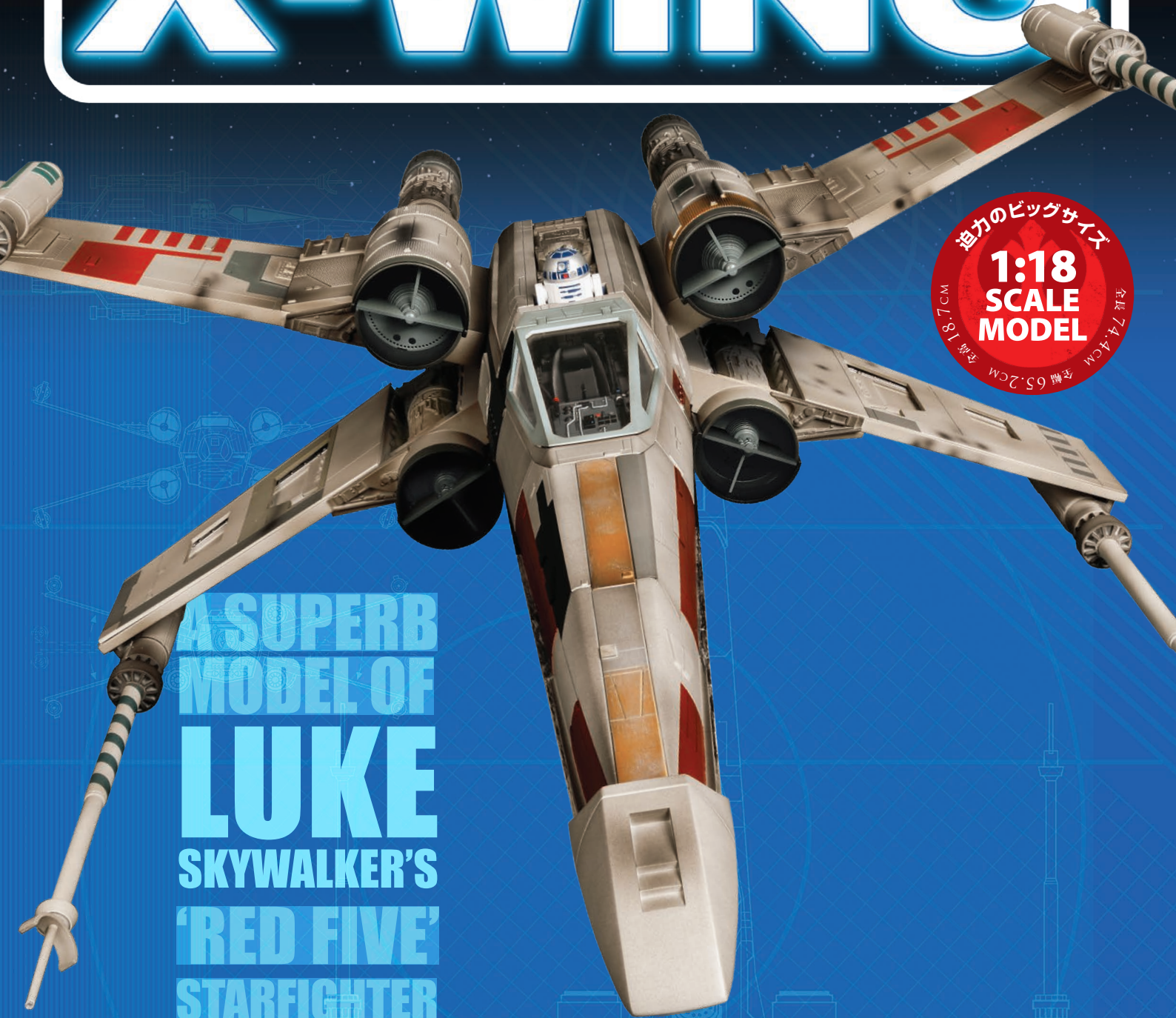


STAR WARS™

BUILD YOUR OWN

12

X-WING



迫力のビッグサイズ
1:18
SCALE
MODEL
全長 74.4cm
全幅 65.2cm
高さ 18.7cm

A SUPERB
MODEL OF
LUKE
SKYWALKER'S
'RED FIVE'
STARFIGHTER



DEAGOSTINI

第12回配本 組立内容

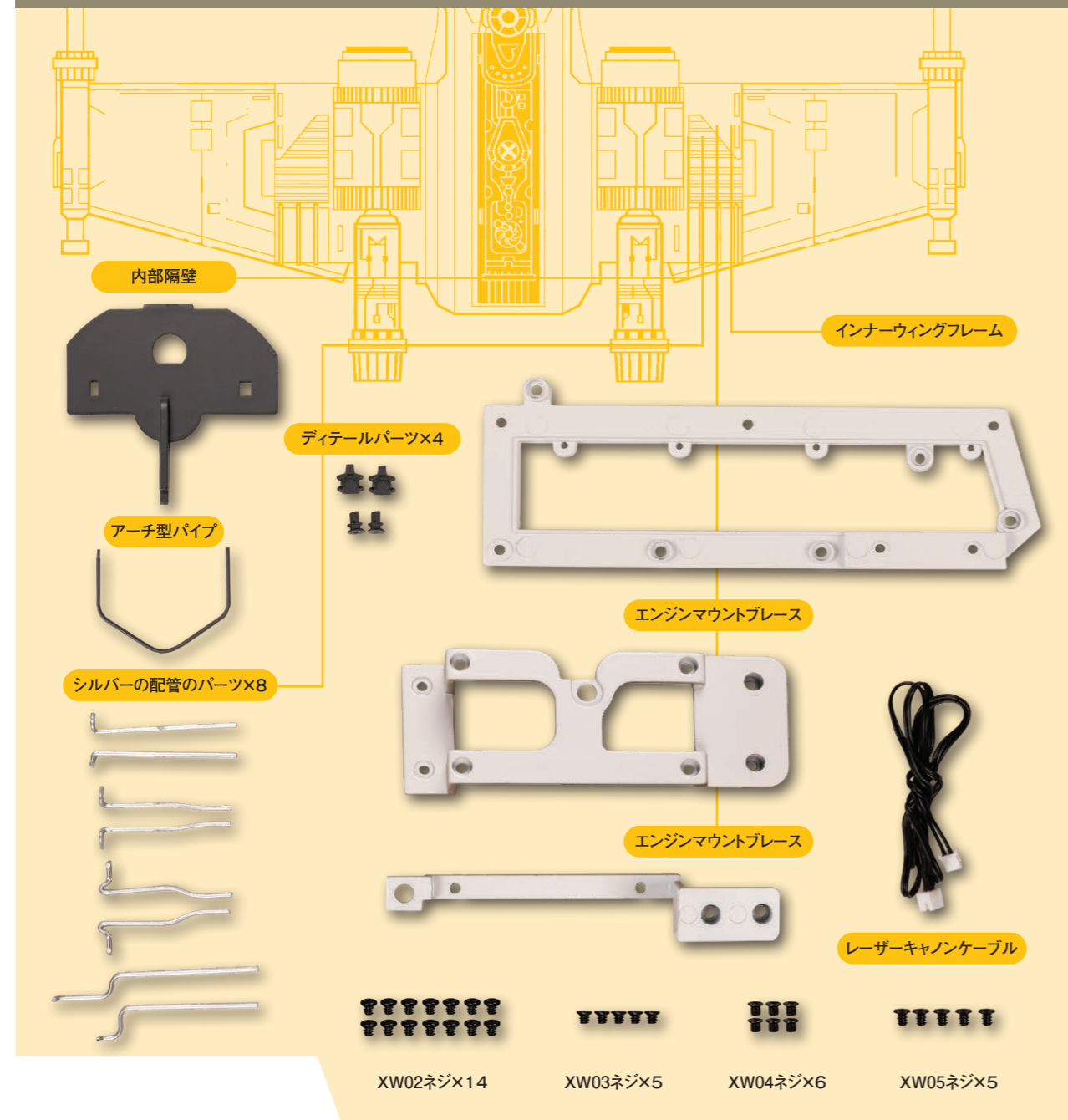
| | | |
|-----------------|-----------------|-----|
| STAGE 45 | 右舷下翼マウント | 258 |
| STAGE 46 | 右舷下翼エンジン⑤ | 266 |
| STAGE 47 | 右舷下翼③ | 272 |
| STAGE 48 | 右舷下翼④ | 278 |

右舷下翼マウント

このステージのパーツには、右舷下翼用の3つの追加フレームに加えて、エンジンのディテールパーツが含まれている。また、レーザーキャノンに動力を供給するために使用するケーブルと、パーツと一緒に固定するための4種類のネジがある。

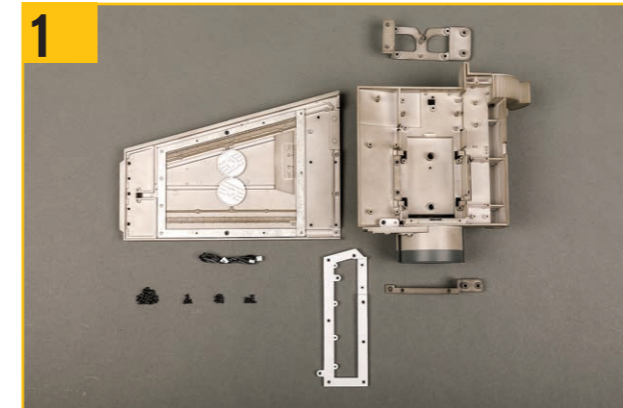
ステージ45の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれがXウイングのどの部分を構成するのか見てみよう。

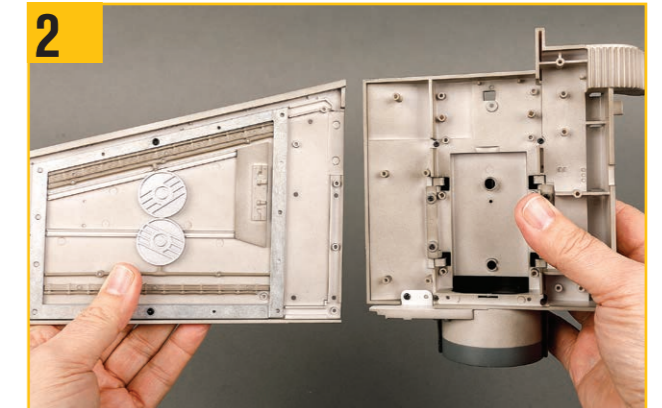


翼の組み立て

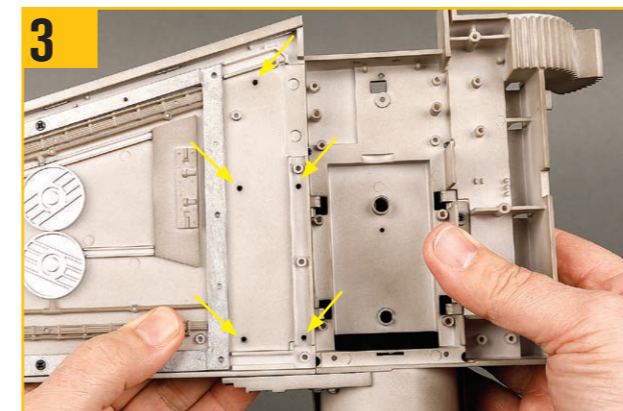
翼を強化する3つの追加フレームを取り付け、エンジンをサポートする。そして翼端レーザーキャノンの配線を取り付ける。



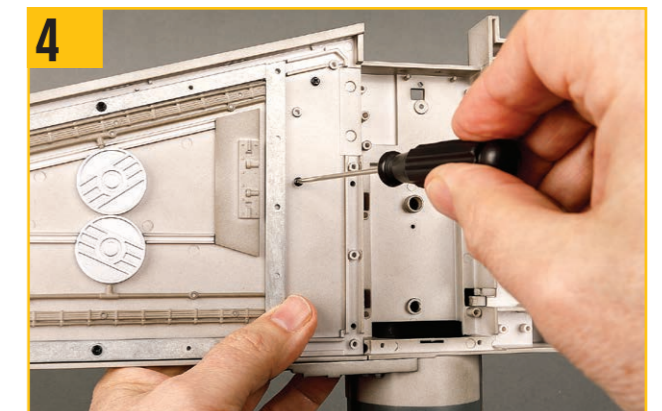
今回提供される3つのフレームとネジ、ステージ39～41で作成した下翼とエンジンマウントを用意する。



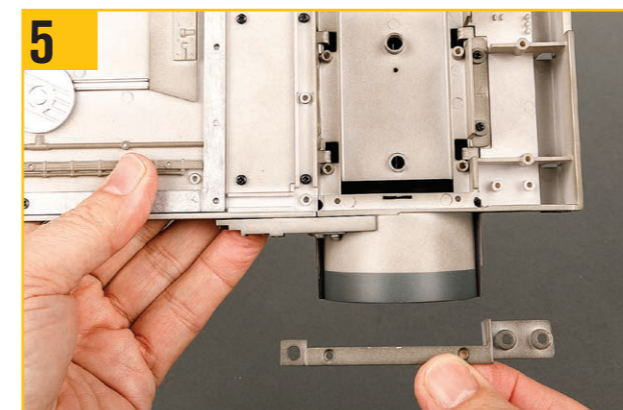
下翼とエンジンマウントを写真のように持つ。



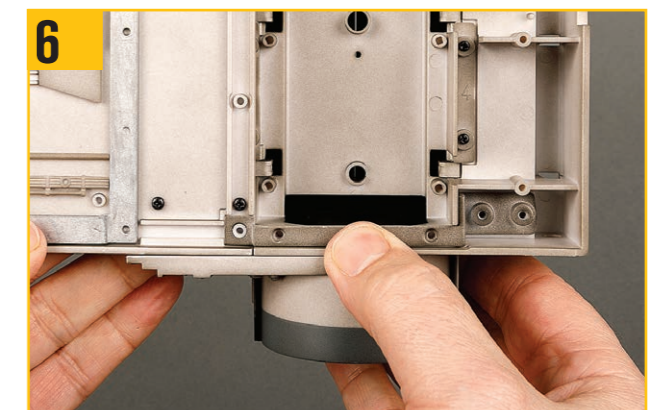
矢印で示した5つの穴がエンジンマウントのラグと揃うようにする。



5つの穴すべてをXW02ネジでパーツを固定する。



小さい方のエンジンマウントブレースを写真のように持つ。



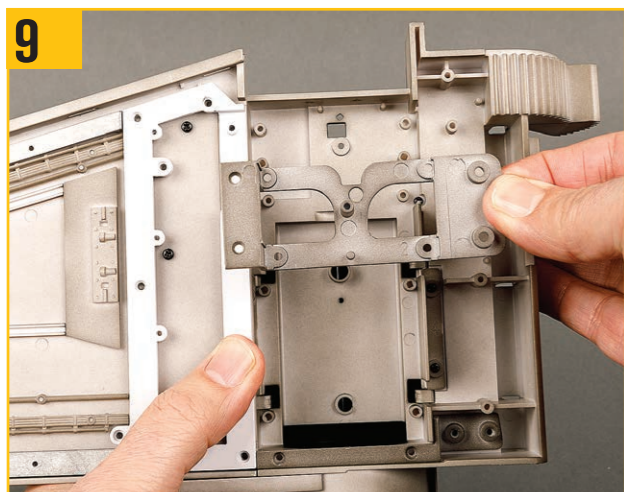
写真のようにエンジンマウントを取り付ける。



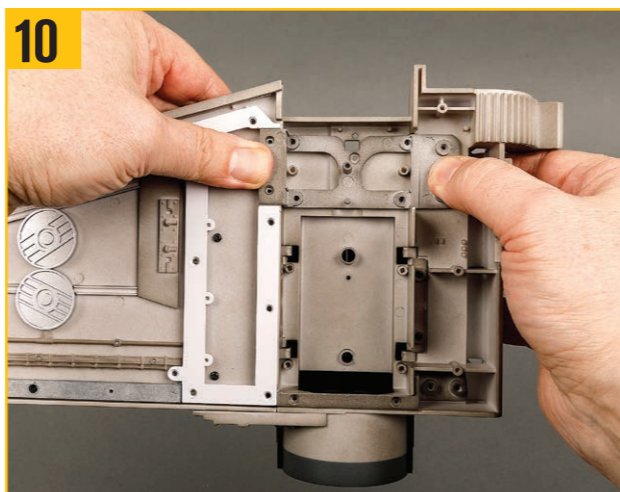
7 インナーウィングフレームを写真のように持つ。



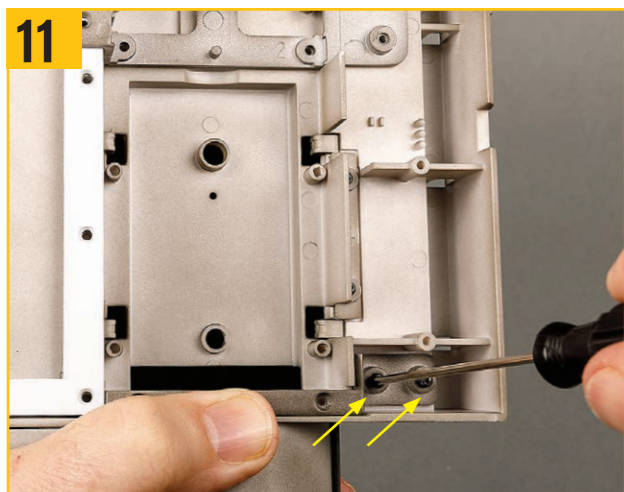
8 写真のように外翼のフレームとエンジンマウントプレースの端にパーツを合わせて設置する。



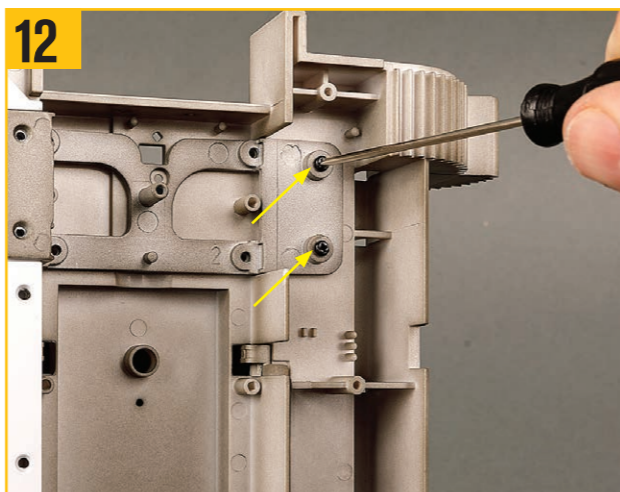
9 大きい方のエンジンマウントプレースを写真のように持つ。



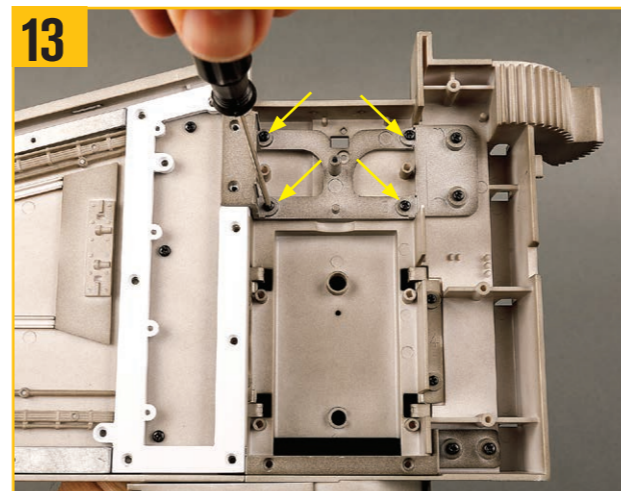
10 写真のように、エンジンマウントの端とインナーウィングフレームを合わせる。



11 矢印の2つの穴をXW02ネジで締めて、小さいエンジンマウントプレースを固定する。



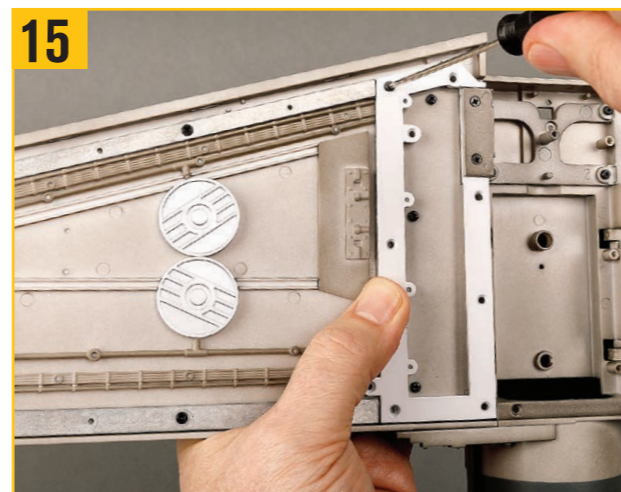
12 そして矢印の2つの穴をXW02ネジで締めて、大きいエンジンマウントプレースを固定する。



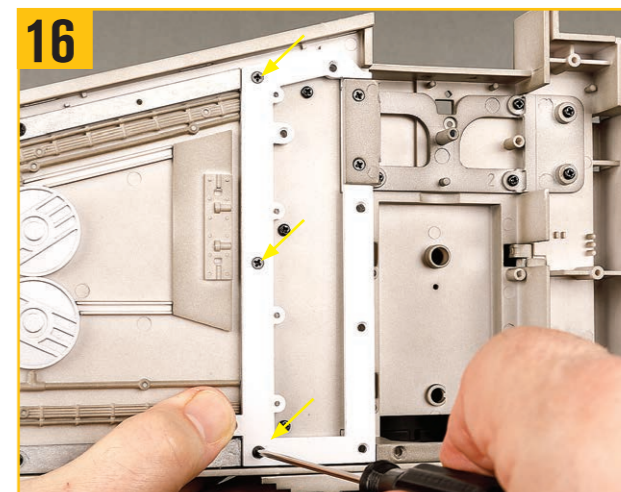
13 XW02ネジで矢印の4つの穴もねじ止める。



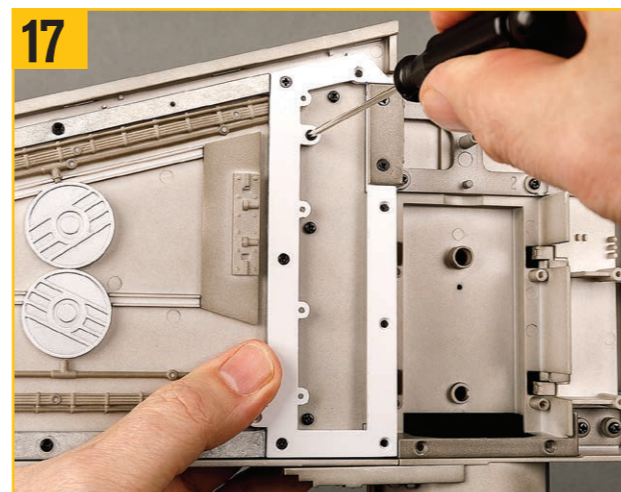
14 大きいエンジンマウントプレースとインナーウィングフレームが合わさった2つの穴にXW04ネジをねじ止める。



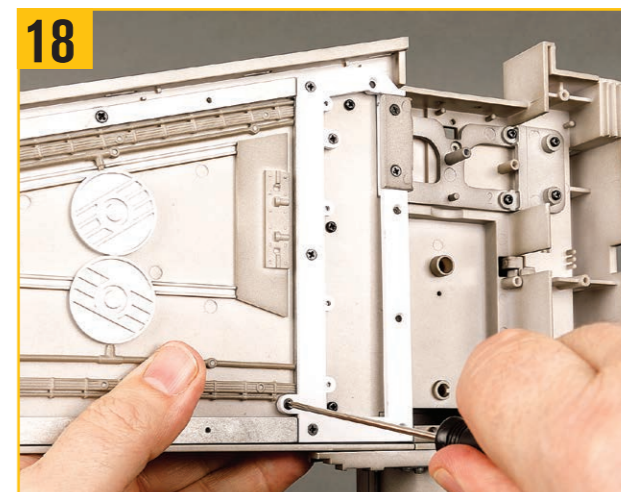
15 インナーウィングフレームを外翼のフレームに固定するために、さらにXW04ネジを使用する。



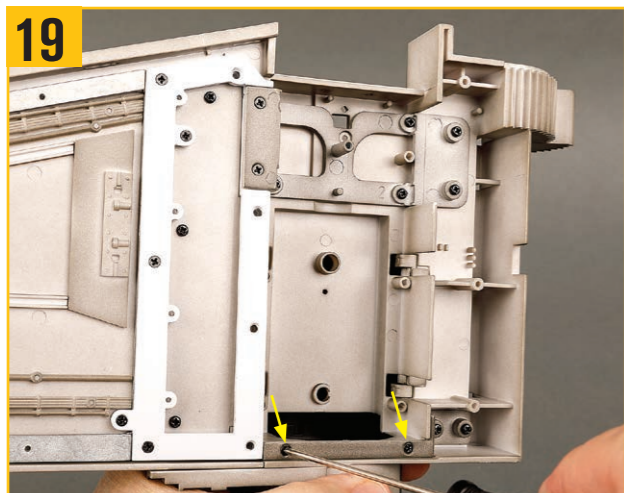
16 写真に示した3つの穴をXW04ネジでねじ止める。



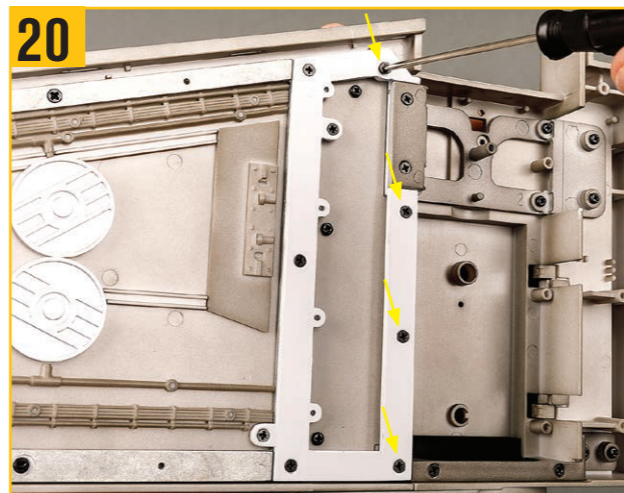
17 XW03ネジで写真の穴をねじ止めし、インナーウィングフレームをウィングパネルに固定する。



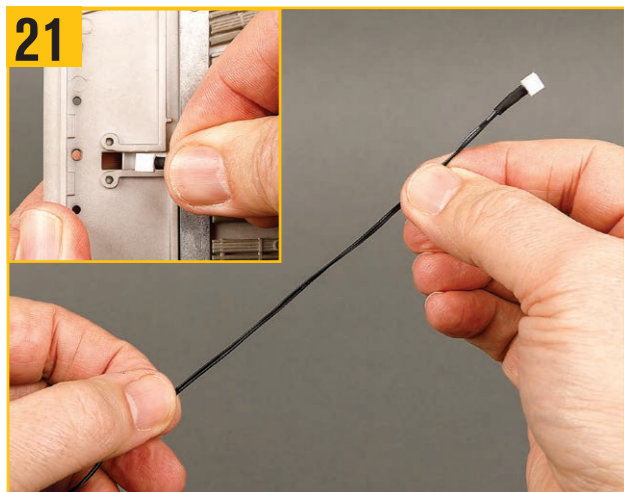
18 写真の穴をXW03ネジでねじ止める。



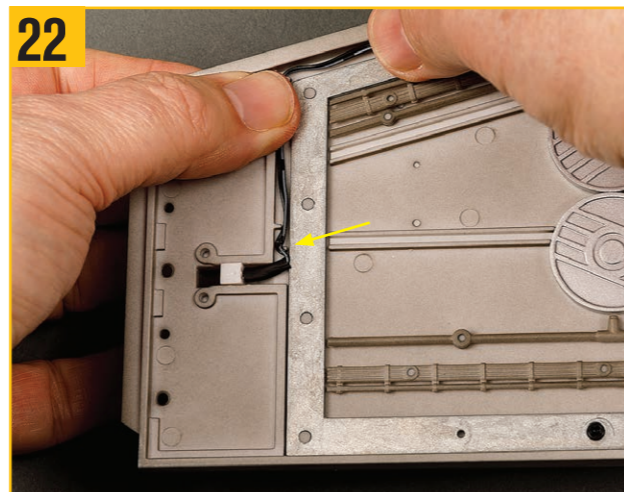
2つのXW03ネジで小さいエンジンマウントブレースの矢印の2つの穴をねじ止める。



最後にXW05ネジでインナーウィングフレームの矢印の4つの穴をねじ止める。



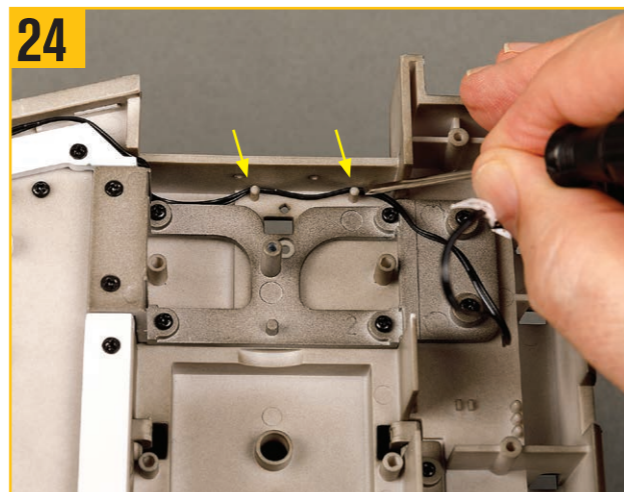
レーザーキャノンケーブルをほどきまっすぐにし、端のプラグを翼端の穴の近くのくぼみに押し込む。



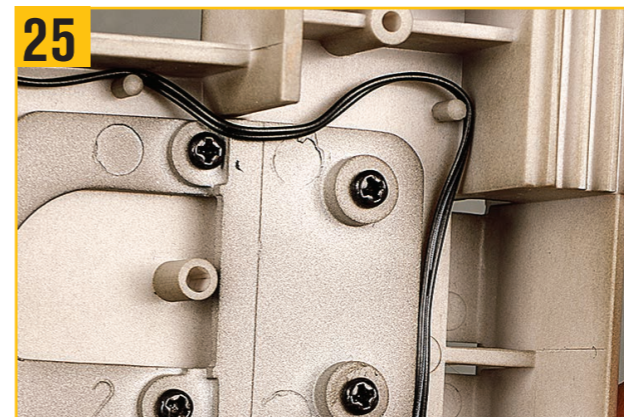
ステップ27の写真に示すように、矢印の付いた支柱の間にケーブルを押し込んだ後、ケーブルを翼の周りに沿わせていく。



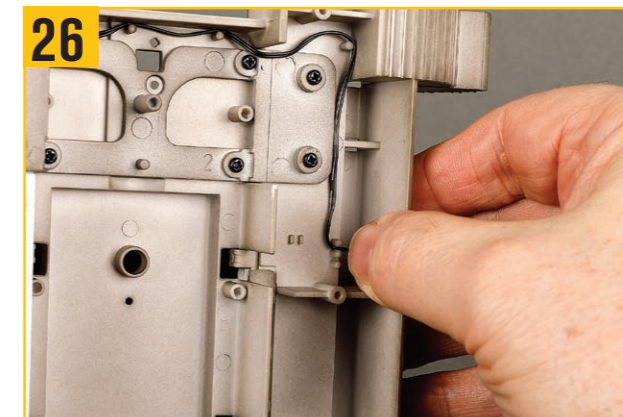
エンジンマウントに到達するまで、経路に沿ってケーブルの配線を続ける。



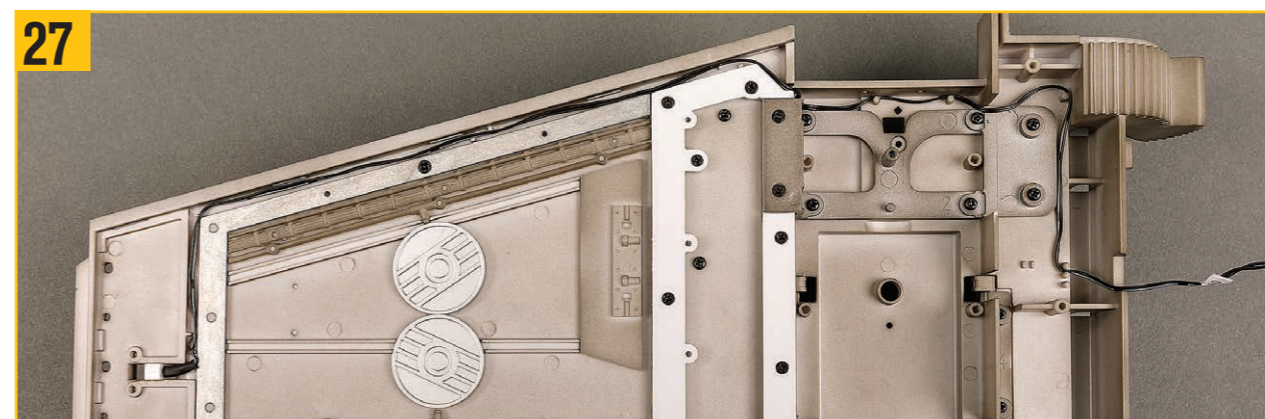
必要に応じてドライバーの先端を使用し、ケーブルをエンジンマウントにある支柱と壁面の間に押し込む。



ケーブルをエンジンマウントの角の支柱と壁面の間に通す。



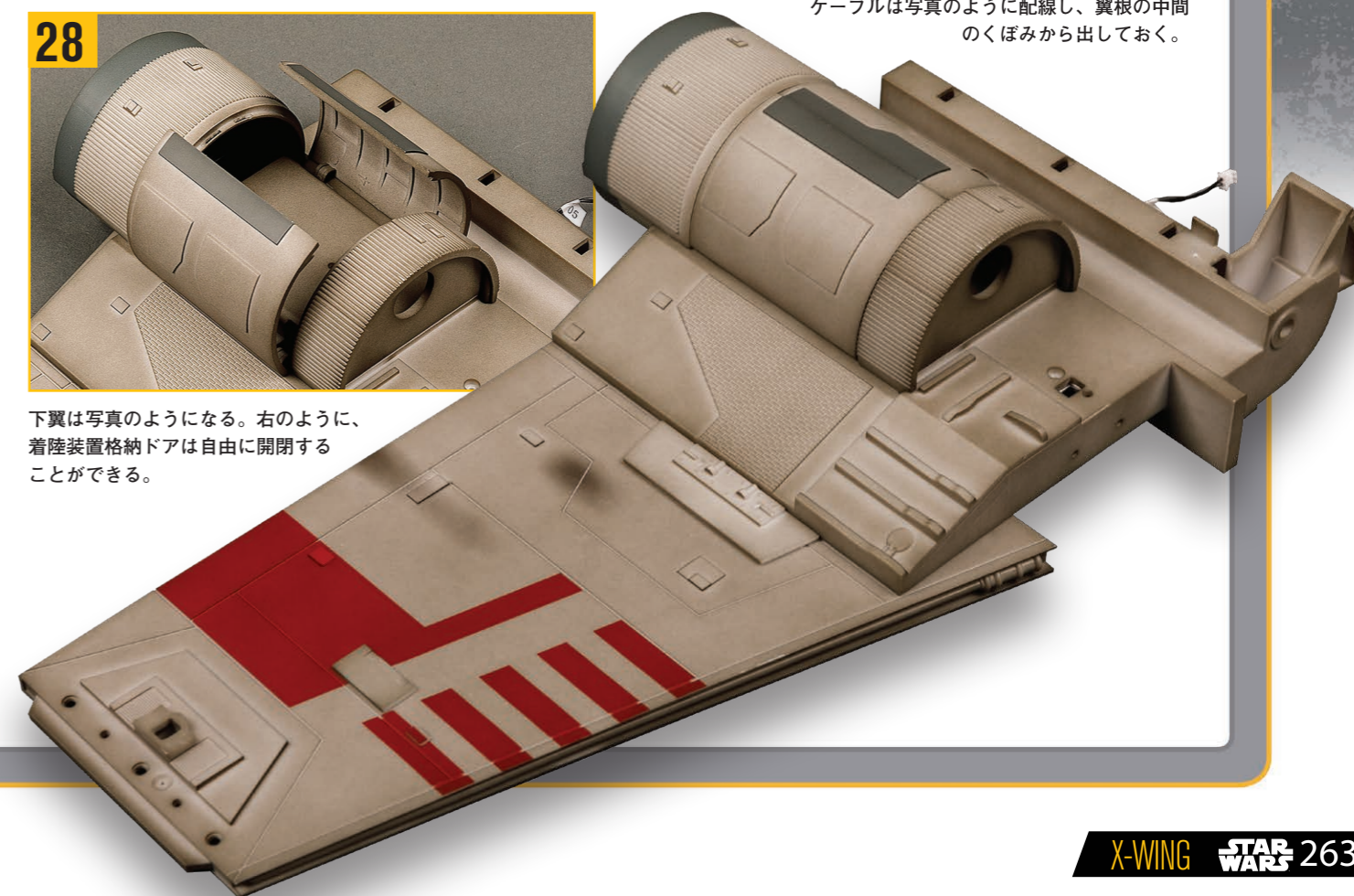
ワイヤーを翼根の中央に向けて引き、3つの支柱のうち写真に示す2つの支柱の間に押し込む。



ケーブルは写真のように配線し、翼根の中間のくぼみから出しておく。



下翼は写真のようになる。右のように、着陸装置格納ドアは自由に開閉することができる。



エンジンの取り付け

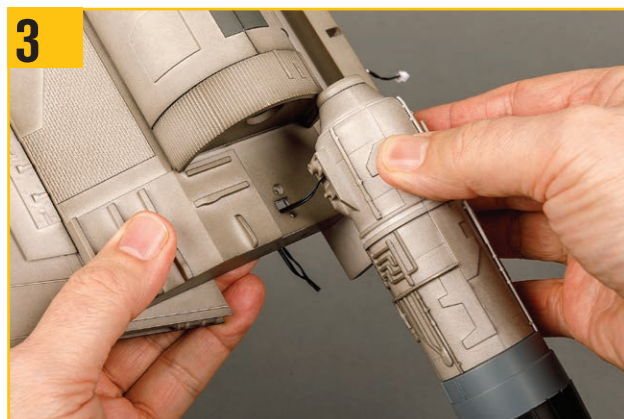
フューリアルスラストエンジンの後部をエンジンマウントに取り付け、翼の下にある照明効果の配線を行う。



1 XW02ネジとステージ44で組み立てたフューリアルスラストエンジンを用意する。



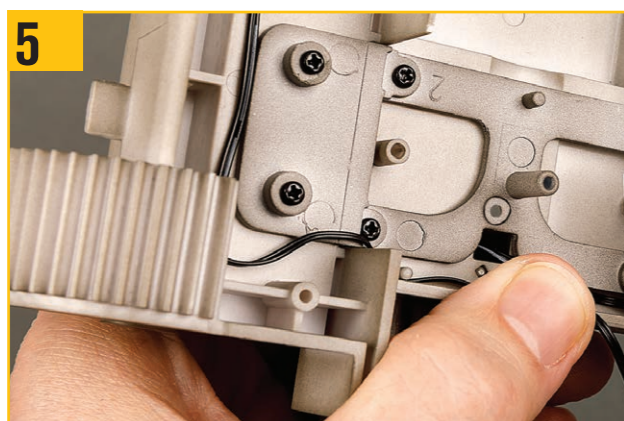
2 エンジンの照明効果のためにケーブルの端にあるプラグをエンジンマウントの写真の穴に差し込む。



3 ケーブルを穴に通して、エンジンの取り付け穴と位置決めピンを合わせる。



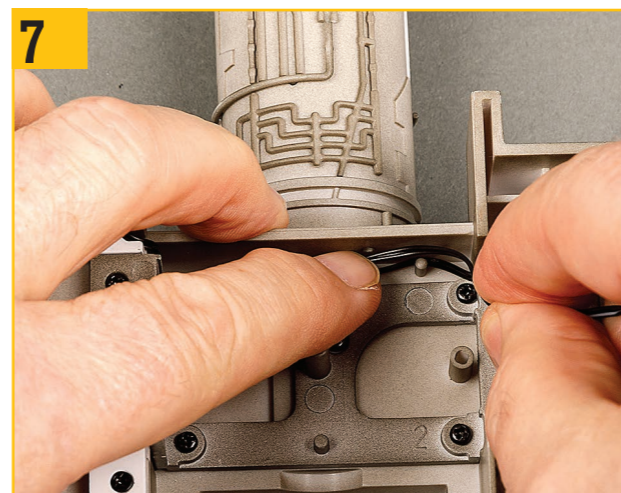
4 エンジンを所定の位置に押し込んで固定する。



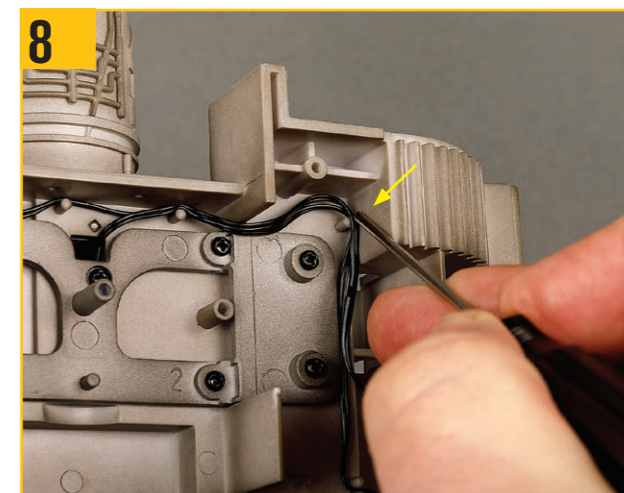
5 パーツを裏返す。



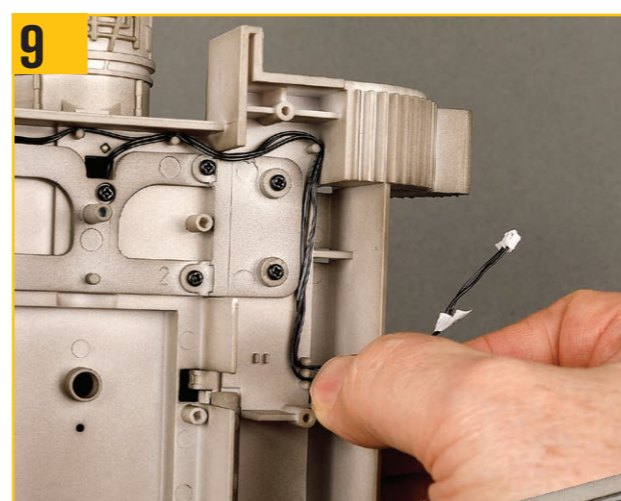
6 XW02ネジで写真の穴をねじ止めて、エンジンを所定の位置に固定する。



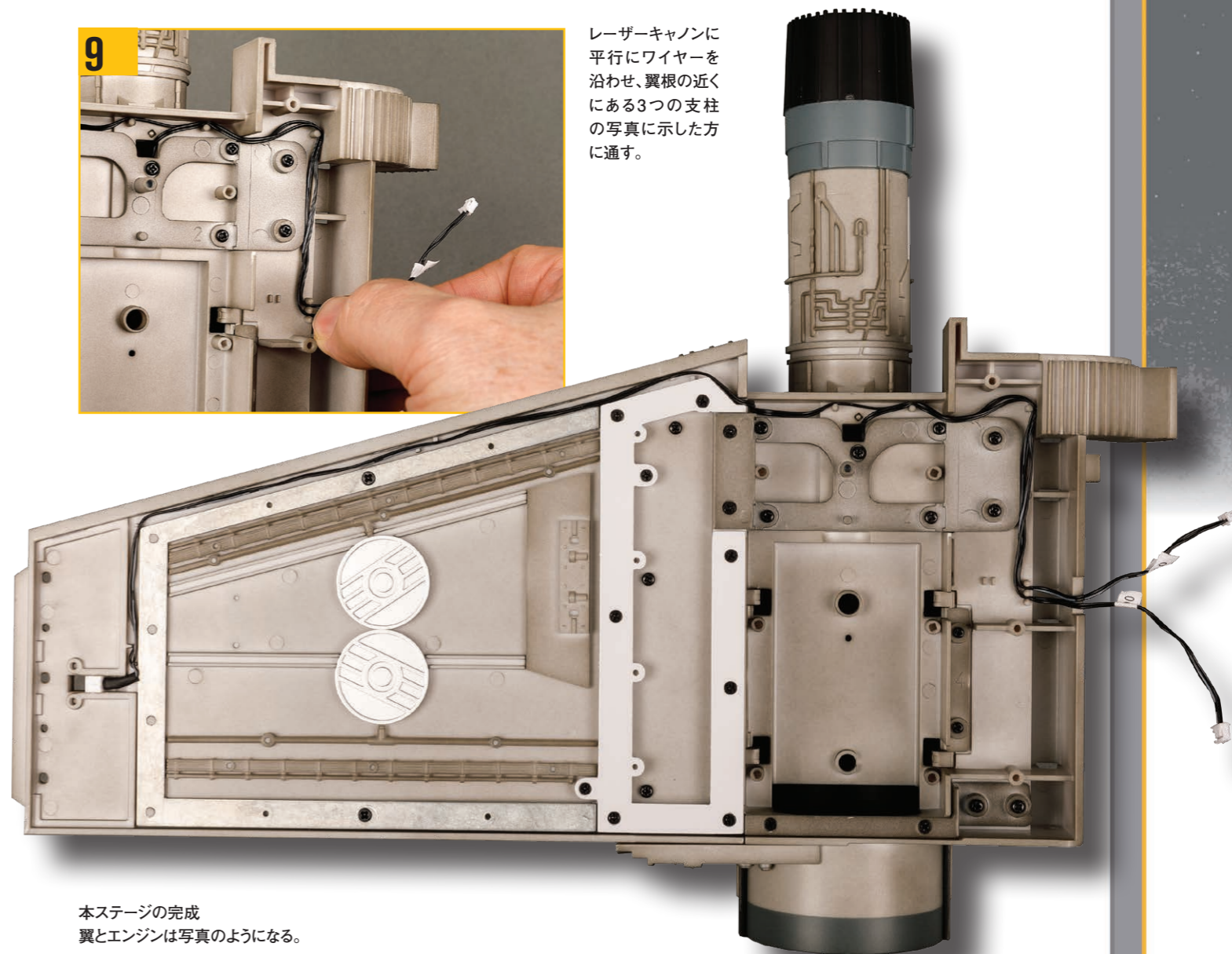
7 エンジンからケーブルを写真の様にたどらせる。



8 矢印で示した角の支柱部分にケーブルを押し込む。



9 レーザーキャノンに平行にワイヤーを沿わせ、翼根の近くにある3つの支柱の写真に示した方に通す。



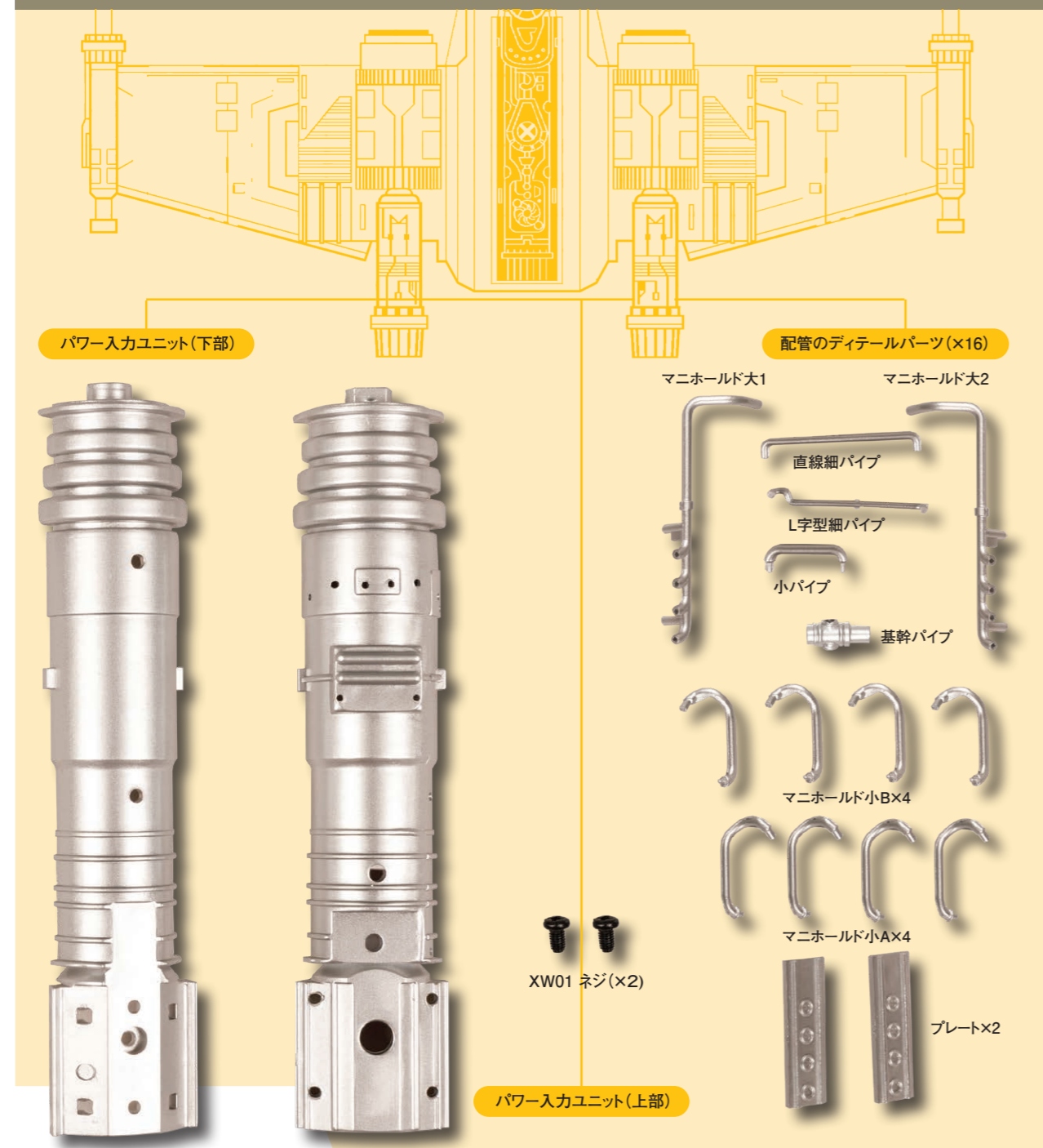
本ステージの完成
翼とエンジンは写真のようになる。

右舷下翼エンジン⑤

このステージでは、パワー入力ユニットを完成させ、右舷下翼にすでに取り付けられているエンジン部分に組み込む。

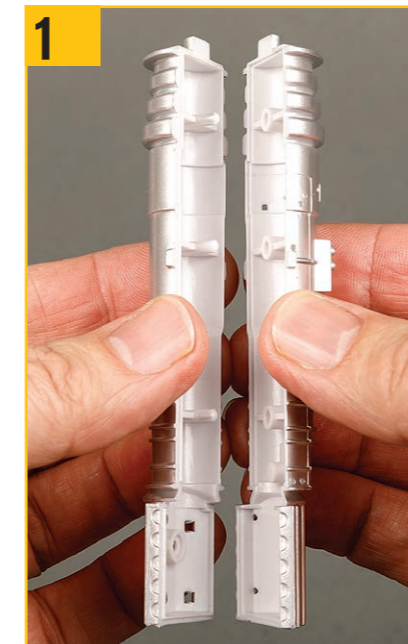
ステージ46の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれがXウィングのどの部分を構成するのを見てみよう。



入力ユニットの作成

パワー入力ユニットを結合し、外部パイプを取り付ける。そして最後にパワー入力ユニットをエンジンに取り付ける。



写真のようにパーツをしっかりと押し合わせる。



短くて太い基幹パイプを取り、パワー入力ユニットの上部のD字型の穴に合わせる。



もう一方のマニホールド大2もステップ4~5の手順と同様に取り付ける。組み立て後は写真のようになる。



2つのマニホールド大は、互いに対になる。これを用意し、基幹パイプの穴に端を合わせる。



マニホールド大1のもう一方の端にある2つのピンを、パワー入力ユニットの上部の穴に取り付ける。



組み立て後は写真のようになる。



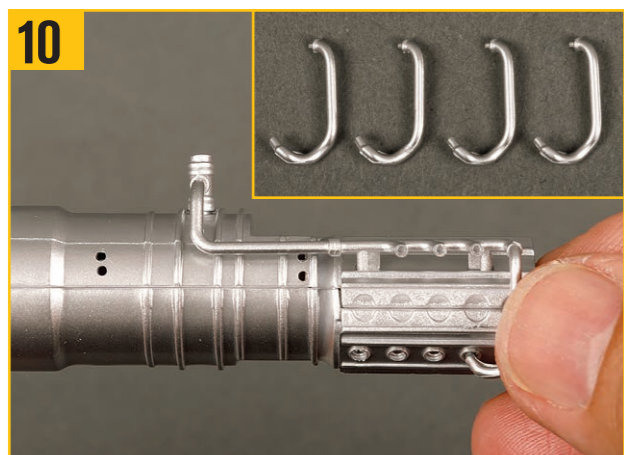
7 背面に3つの突起があるプレートを用意し、パワー入力ユニットの下半分にある写真の3つの穴に合わせる。



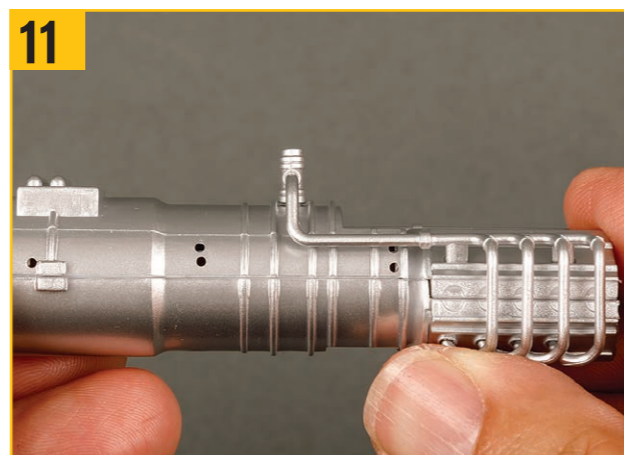
8 ステップ7を繰り返し、2つ目のプレートに合わせる。このプレートには、背面にラグが2つしかなく、写真のようになる。



9 プレートをしっかりと押し込み、パーツが写真のようになるようにする。



10 写真のようにマニールド小Aを4本用意する。ステップ7のプレートに湾曲した端を取り付け、もう一方の端をマニールドに差し込む。



11 2番目のパイプも繰り返し、4本すべてのパイプを取り付けるまで、列に沿って取り付ける。組み立て後は写真のようになる。



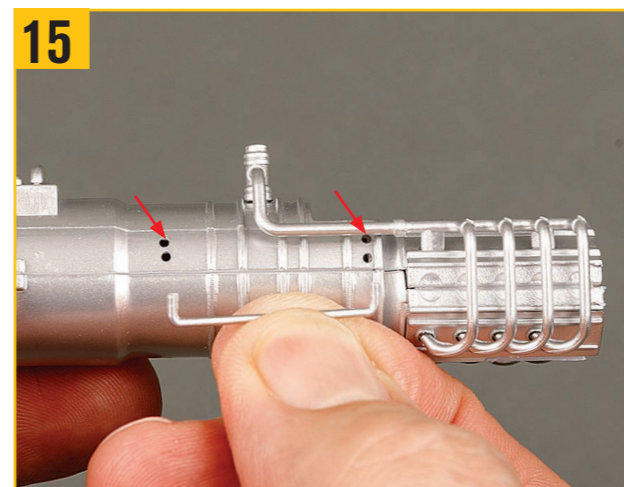
12 マニールド小Bを4本用意し、ステップ10と11を繰り返して、パワー入力ユニットの反対側に取り付ける。



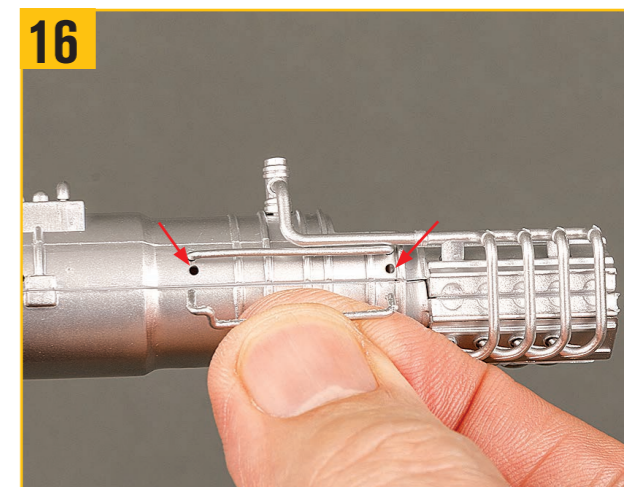
13 一番短い小パイプを用意し、両端のピンをパワー入力ユニットの上部の2つの穴に合わせる。



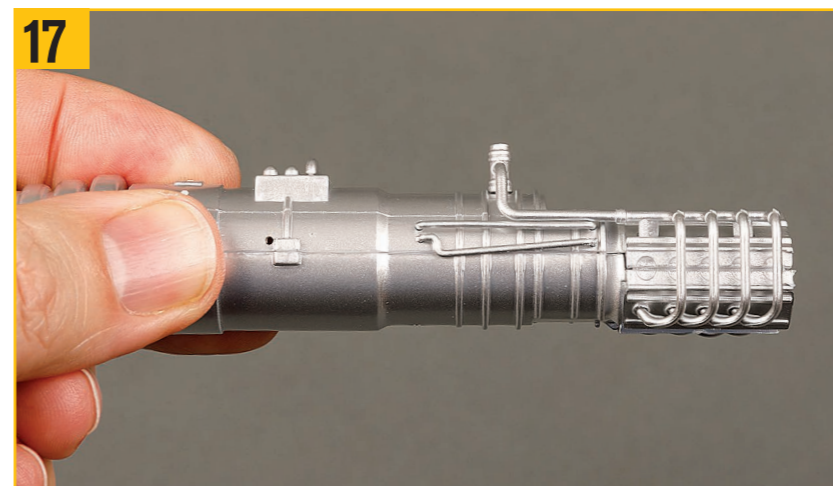
14 組み立て後は写真のようになる。



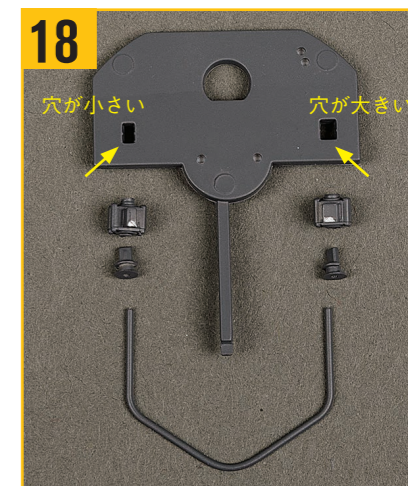
15 直線細パイプを矢印の穴に押し込む。



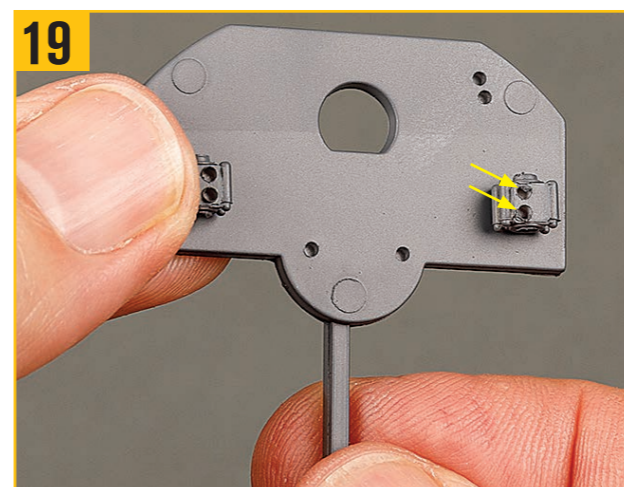
16 L字型細パイプを矢印の穴に押し込む。



17 パワーユニットの組み立て後は写真のようになる。



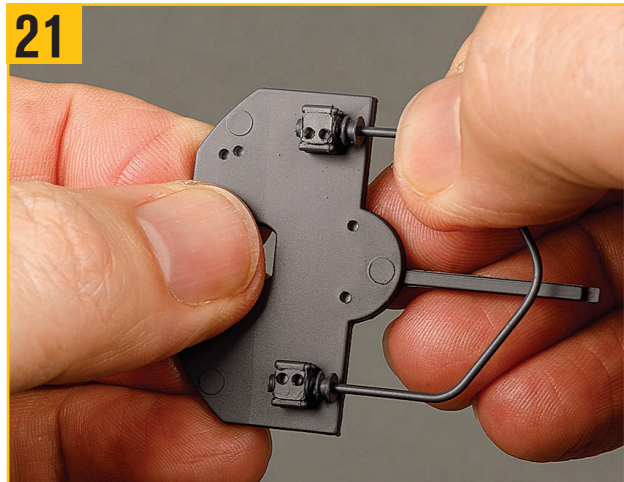
18 ステージ45で提供された写真の部品を用意して、ディテールパーツの左右と穴の位置を確認する。



19 片側に2つの穴がある大きい方のディテールパーツ2つ用意する。写真のように、背面の四角いピンを内部隔壁の角の近くの穴に押し込み、すべての部品が正しい向きになっていることを確認する。



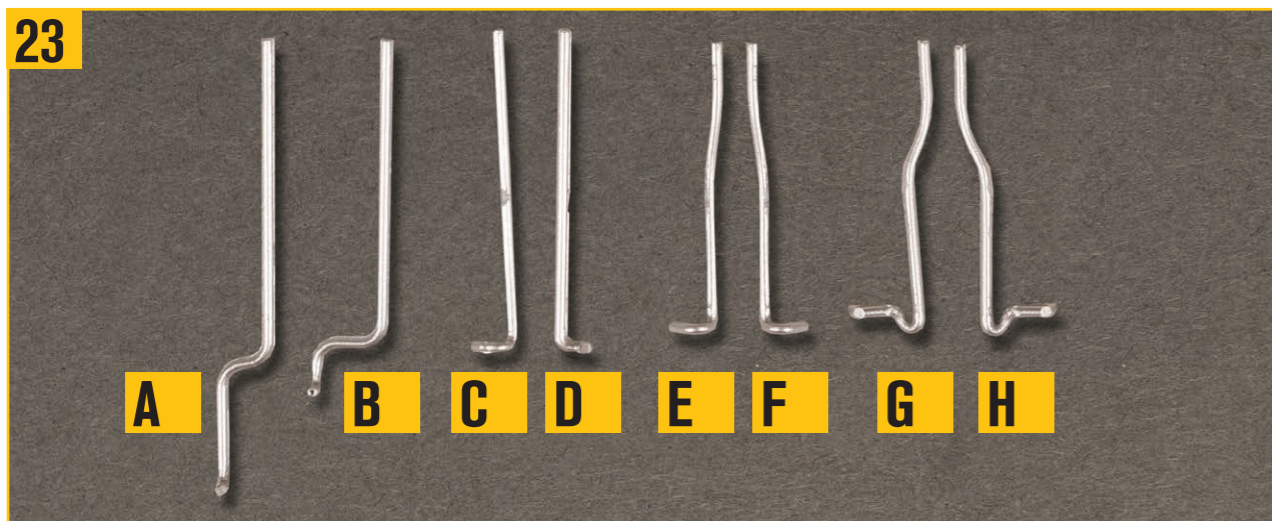
20 端にD字型の突起がある2つの小さなディテールパーツを用意する。ステップ19で取り付けられたパーツの対応する穴に突起を合わせ、パーツを所定の位置にしっかりと押し込む。



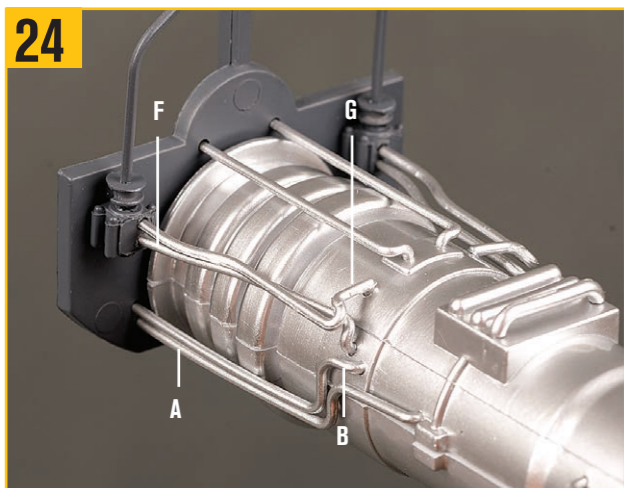
21 細いアーチ型のパイプを用意し、ステップ20で取り付けられたディテールパーツの穴に両端を押し込む。



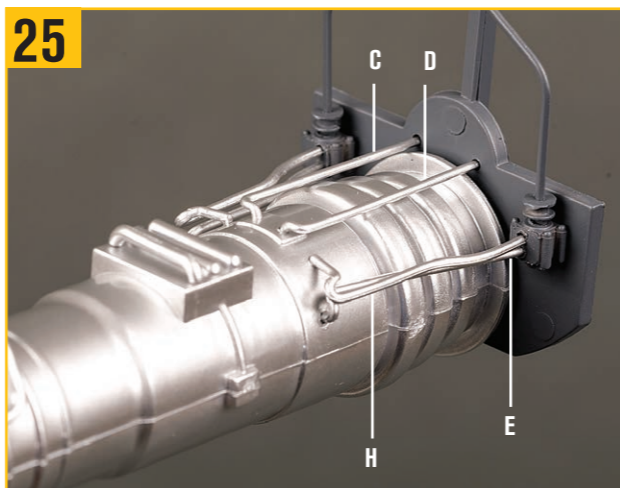
22 内部隔壁の大きなD形の穴をパワー入力ユニットの端にある対応するラグに合わせ、パーツを写真のようにしっかりと押し込む。



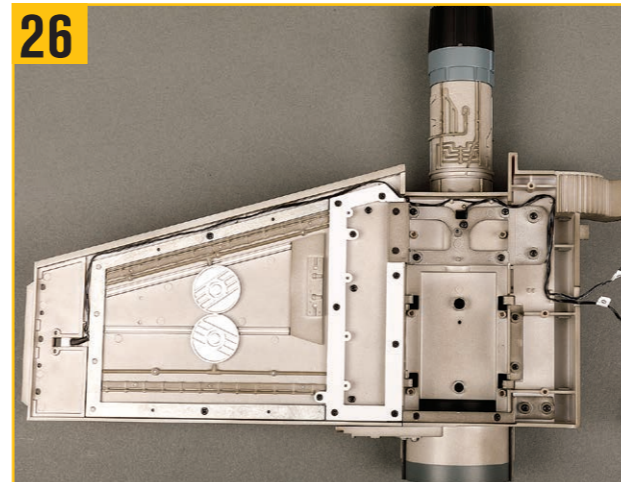
23 ステージ45で提供されたシルバーの配管パーツを用意する。写真を参照して8つの配管を識別する。



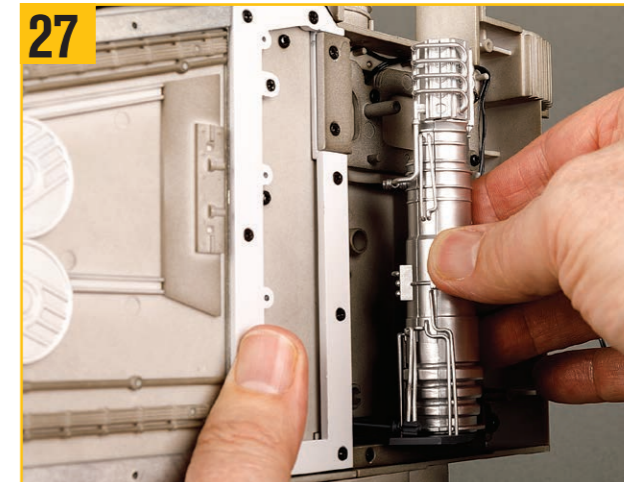
24 写真の記号を参照して、パイプA、B、F、Gをパワー入力ユニットの対応する穴に取り付ける。



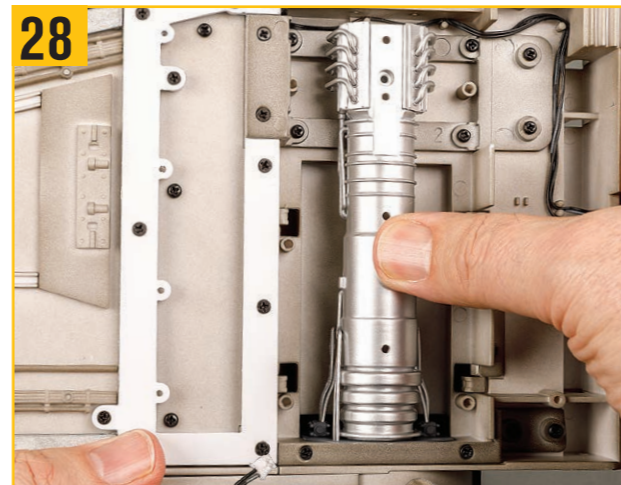
25 パワー入力ユニットの反対側のパイプC、D、E、Hを写真の位置に取り付ける。



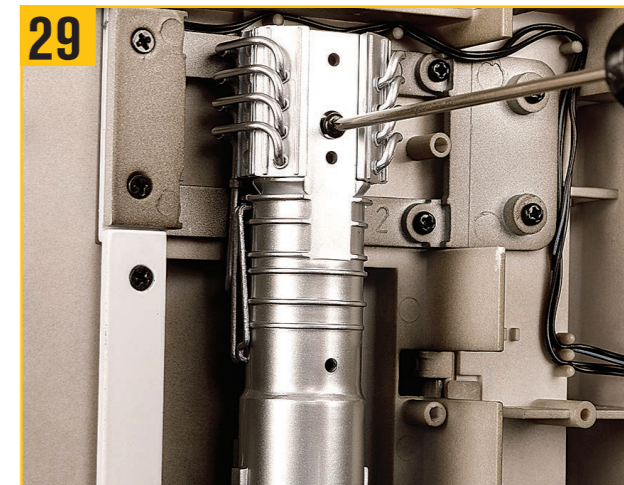
26 ステージ45で制作した翼とエンジンのパーツを用意する。



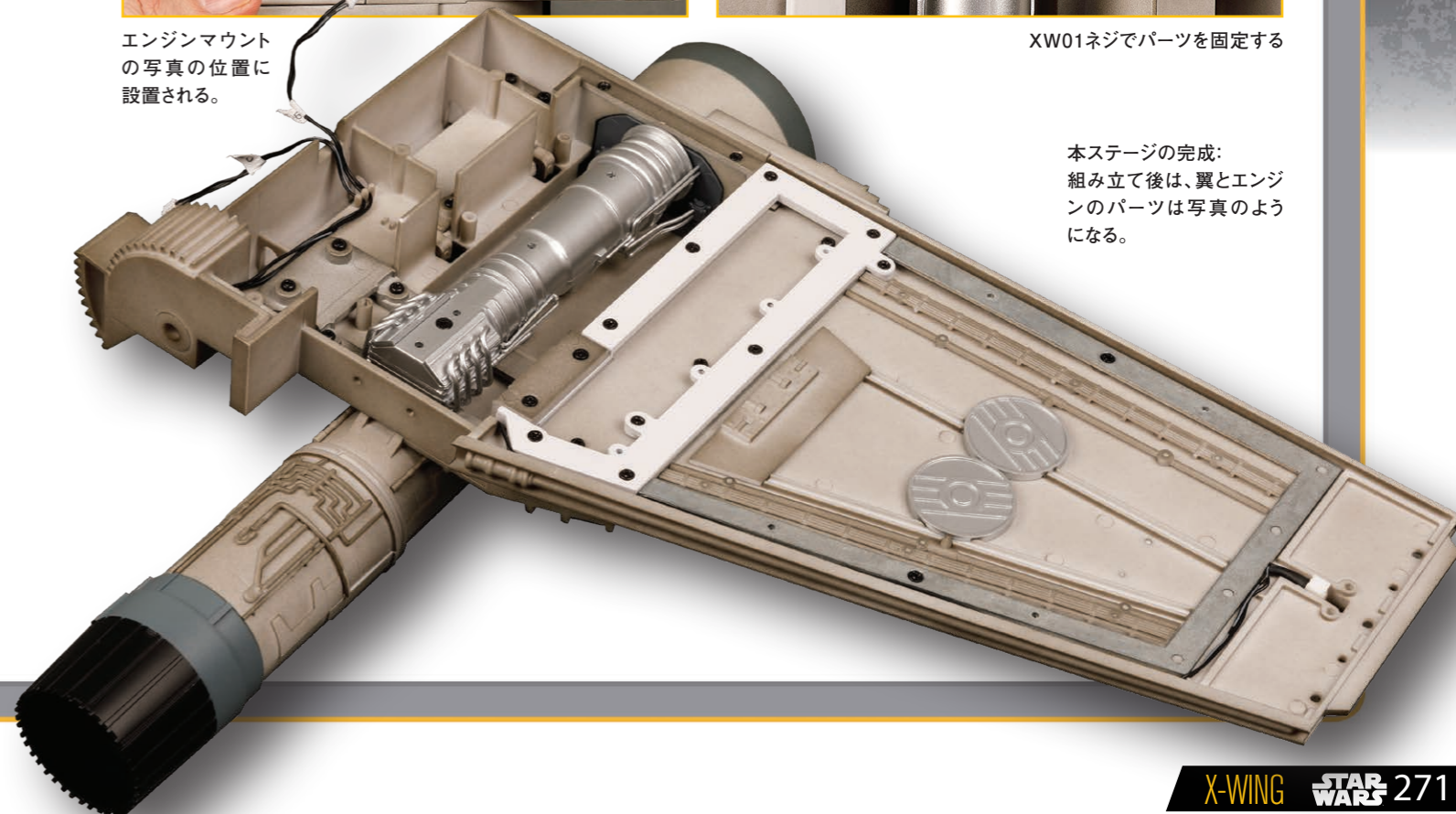
27 写真のようにパワー入力ユニットを合わせる。



28 エンジンマウントの写真の位置に設置される。



29 XW01ネジでパーツを固定する



本ステージの完成:
組み立て後は、翼とエンジンのパーツは写真のようになる。

右舷下翼

伝導のない真空の宇宙で、Xウィングは熱放射によって過剰な熱を分散させなければならない。Sフォイルを開くと、両側から熱が放射される。ただし、放射熱の一部が反対側の翼の表面で再捕獲されてしまうため、システムの効率は2倍にはならなかった。

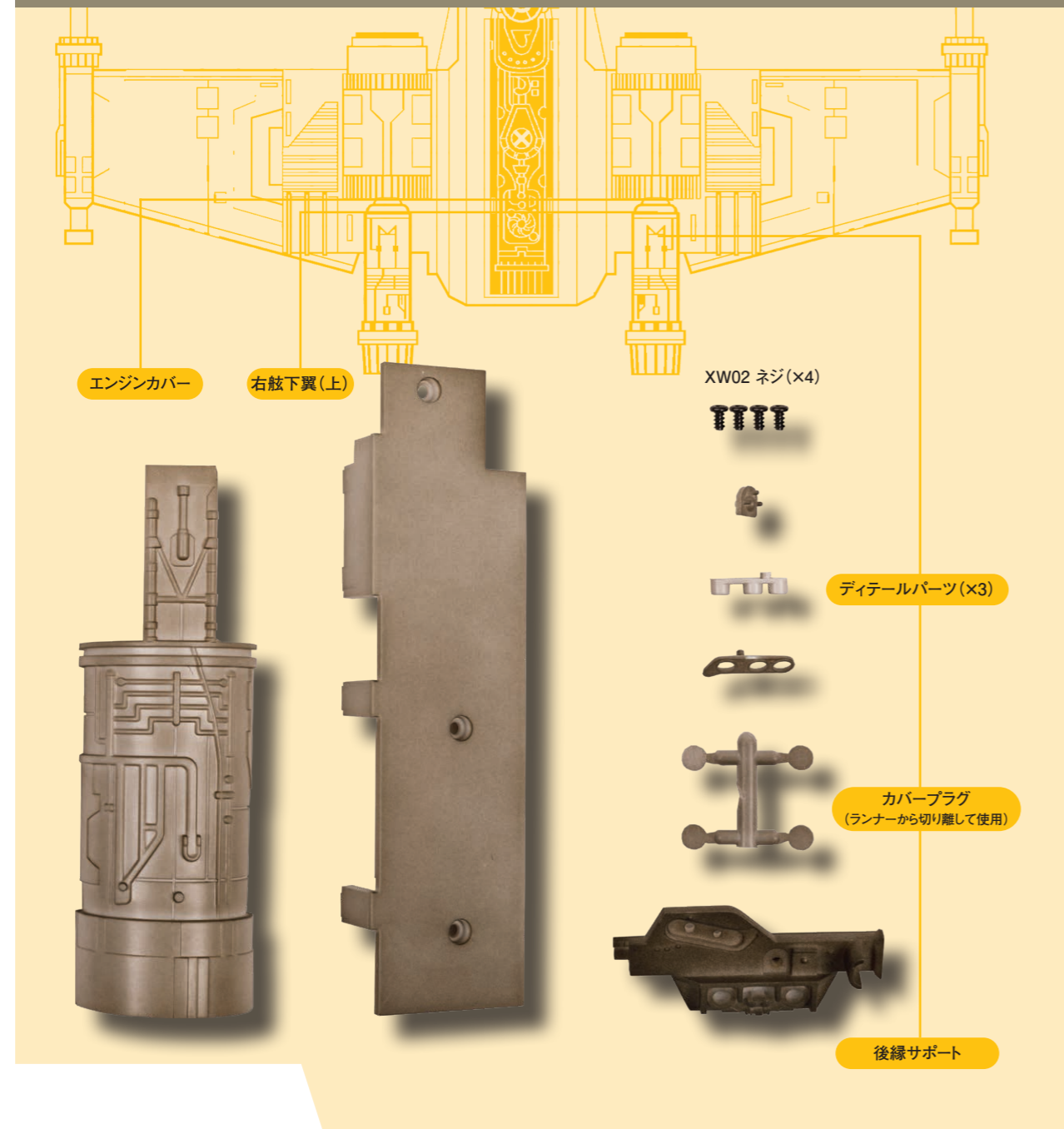


右舷下翼③

このステージでは、パワー入力ユニットを完成させ、右舷下翼にすでに取り付けられているエンジン部分に組み込む。

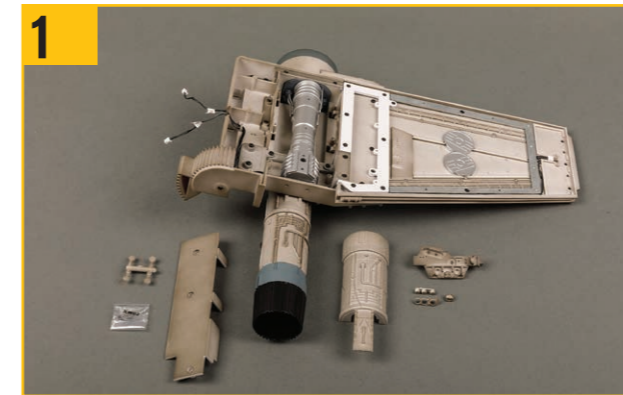
ステージ47の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれがXウイングのどの部分を構成するのか見てみよう。

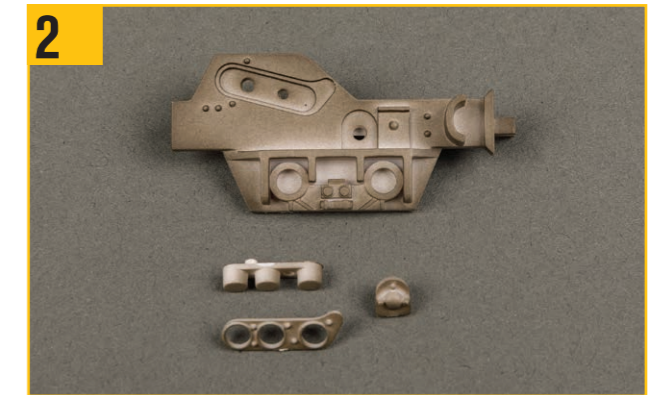


翼の組み立て

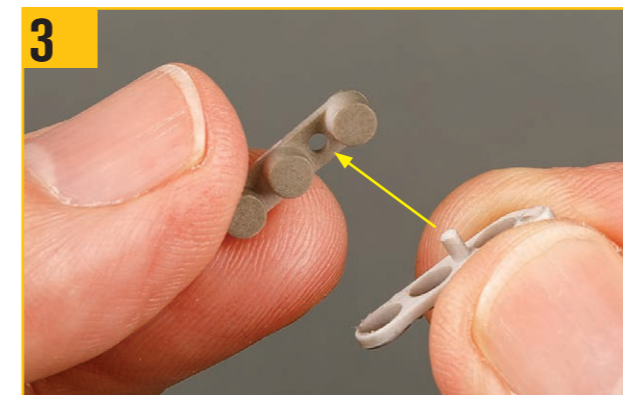
提供される部品はすべてこのステージで使用される。翼根とケーブル配線を覆う右舷下翼(上)を取り付ける前に、サブライトエンジンの周囲のくぼみを装飾する。



ステージ46で制作した翼のパーツと一緒に、エンジンカバー、右舷下翼(上)、およびその他すべての部品を一緒に用意する。



後縁サポートに収まる3つのディテールパーツを用意する。



写真のように最初の2つのパーツを合わせて、位置決めピンが対応する穴に入るようにする。



パーツをしっかりと押し込む。



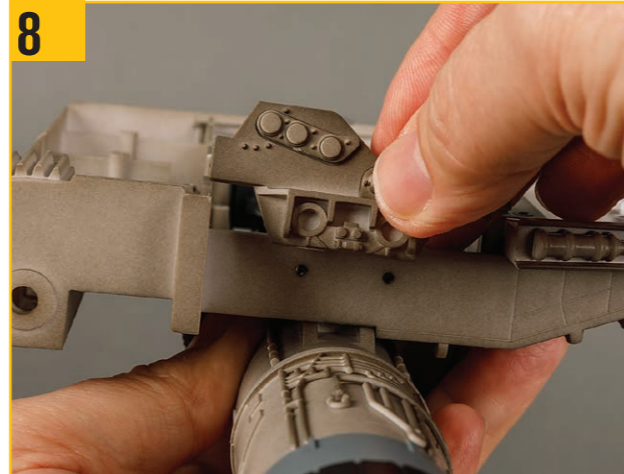
サイズの異なる2つの位置決め穴がある後縁サポートの対応するくぼみにパーツをしっかりと押し込む。



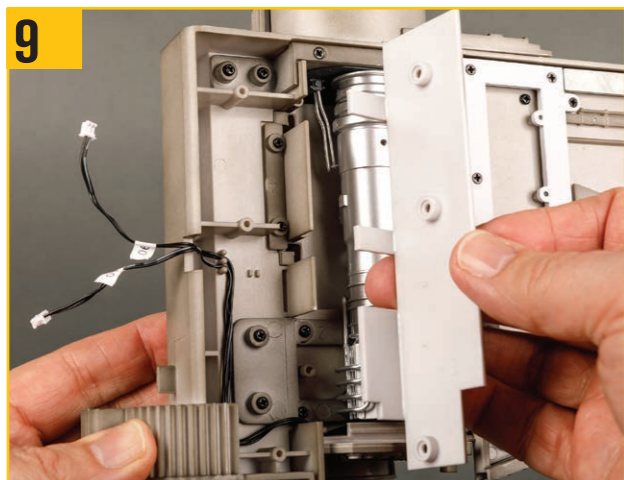
小さなD字型のディテールパーツのピンを、位置決め穴のある写真の一致するくぼみに押し込む。



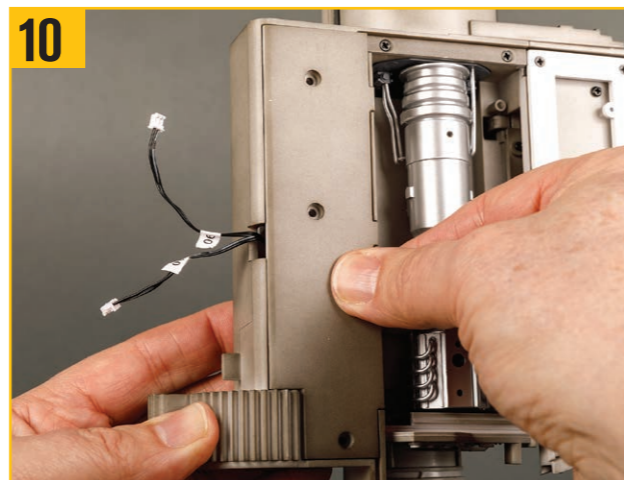
7 組み立て後は、写真のようになる。



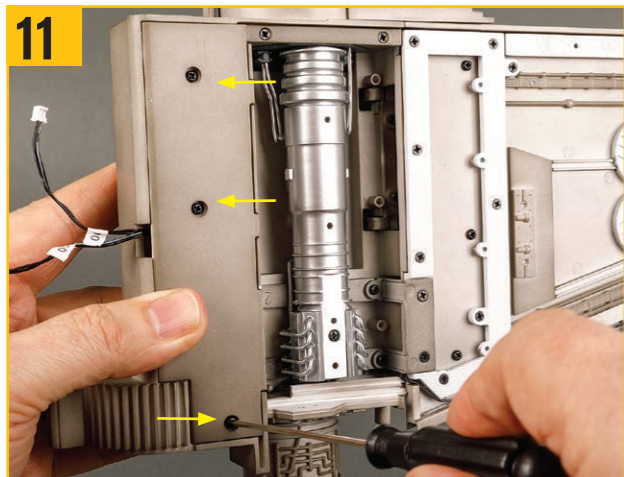
8 写真のように後縁サポートをエンジンマウントの後部に取り付ける。



9 右舷下翼(上)を用意し、翼根を写真のように持つ。



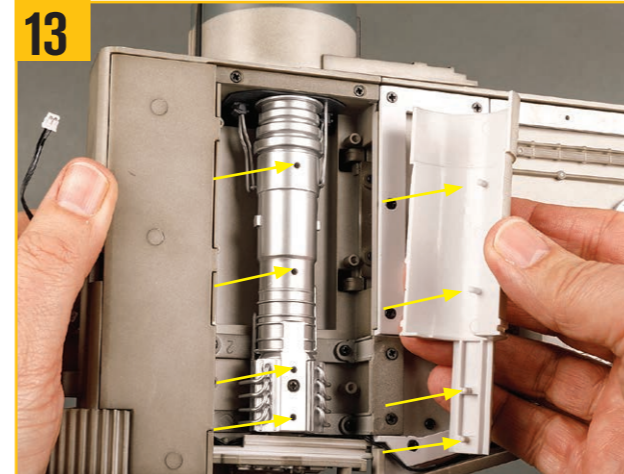
10 右舷下翼(上)をしっかりと押し込む。



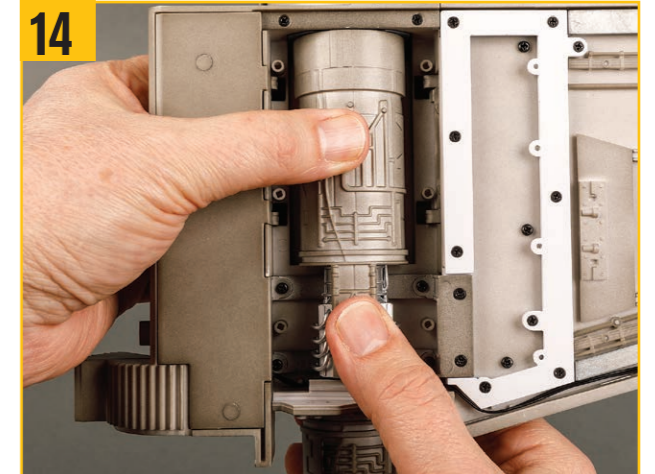
11 写真の3つの穴にXW02ネジでねじ止めし固定する。



12 3つのカバープラグをランナーから切り離し、穴に押し込む。



13 エンジンカバーを用意し、4つの取り付け穴をパワーユニットの対応する穴に合わせる。



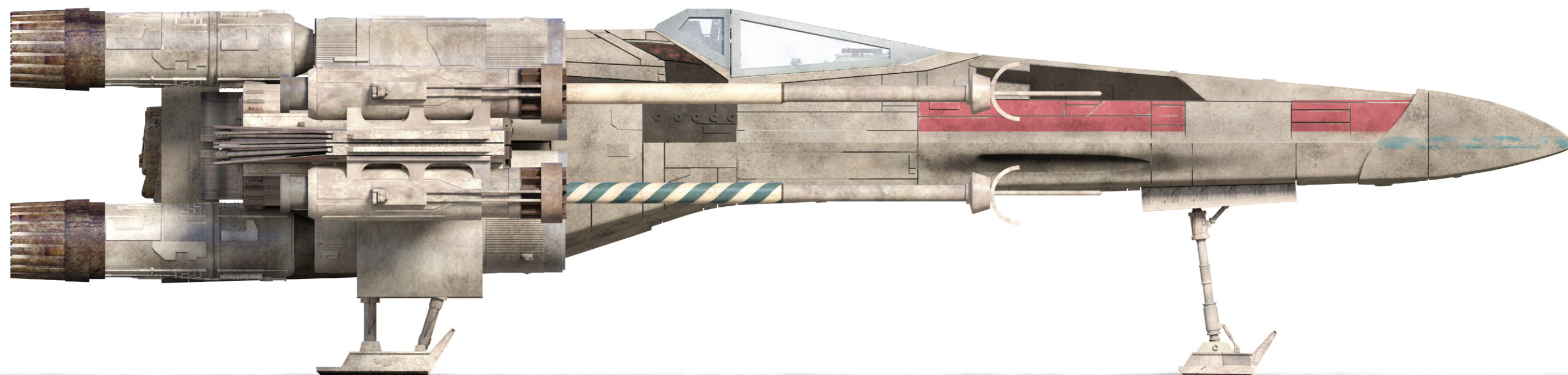
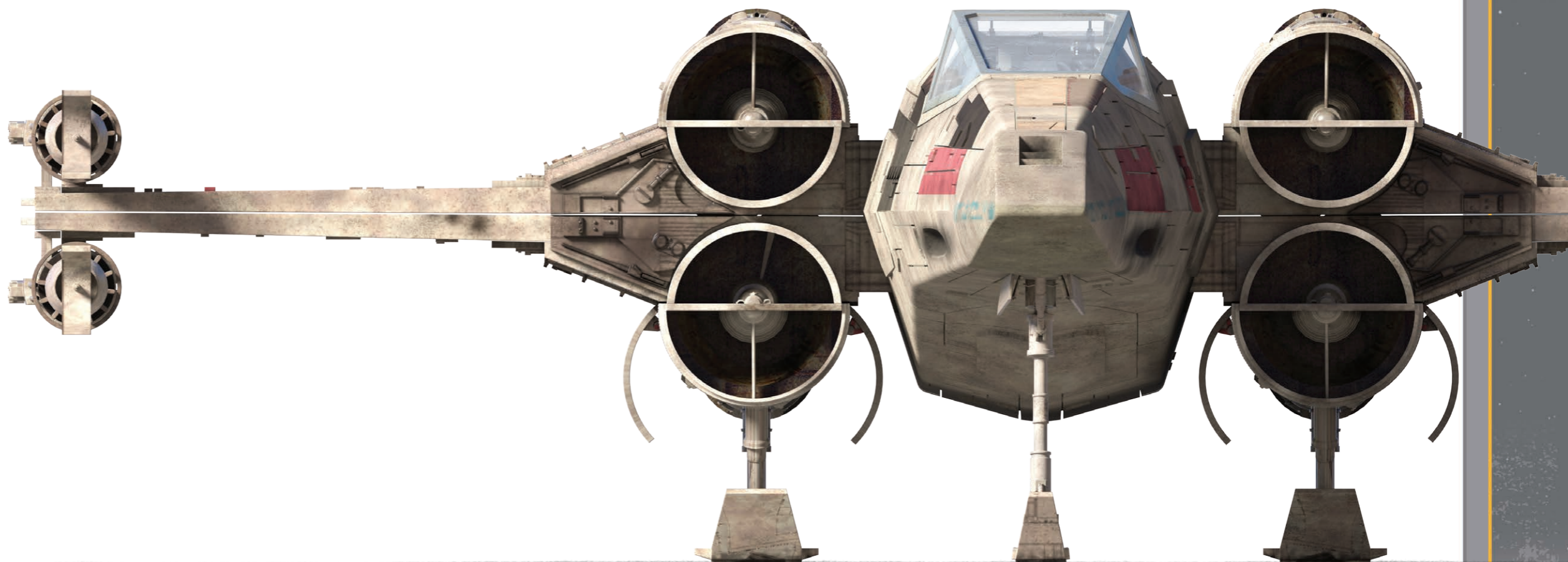
14 カバーを所定の位置に押し込む。



これで翼が完成だ。残りの右舷下翼(上)とレーザーキャノンのみが取り付けられる。

右舷下翼

右舷下翼は、Xウイングの「三輪」の着陸脚の取り付けポイントの1つを形成している。Sフォイルが閉位置にあるときにのみ着陸でき、エンジンケーシングのドアが開いて脚を伸ばすことができる。

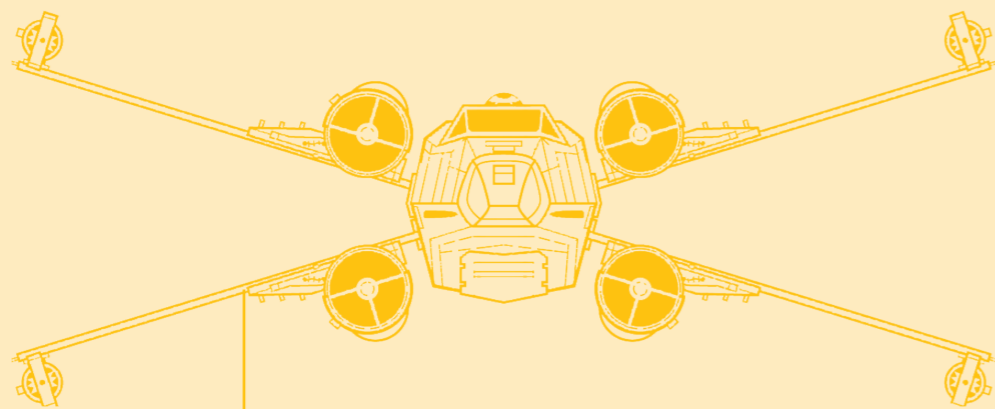


右舷下翼④

このステージの主な部品は、X ウィングの右翼側の下部翼の上側を形成するパネルだ。また、エンジンカバーと、サブライトエンジンのマウントの上収まる 2 つのエッジングストリップがある。

ステージ48の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれがXウィングのどの部分を構成するのか見てみよう。



右舷下翼下部

アウターエッジストリップ

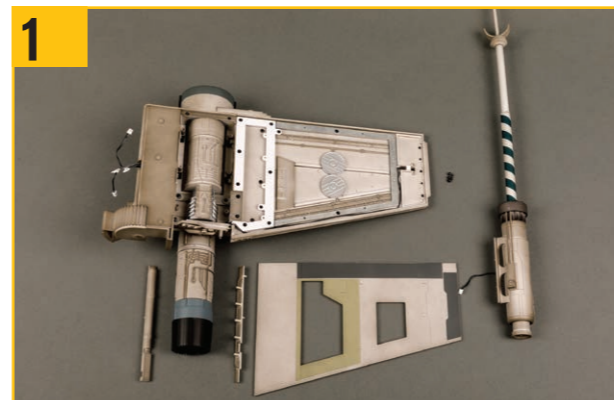
XW02ネジ (x4)



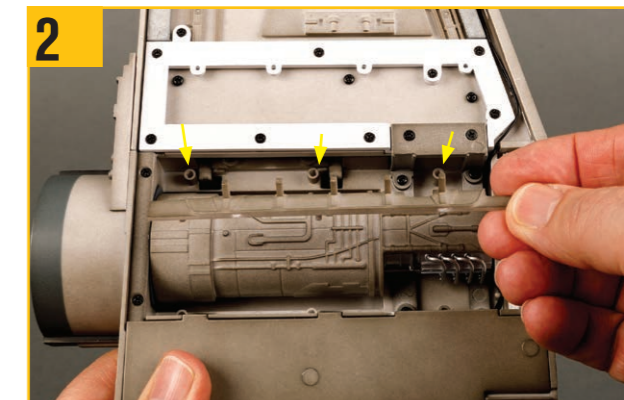
インナーエッジストリップ

翼の組み立て

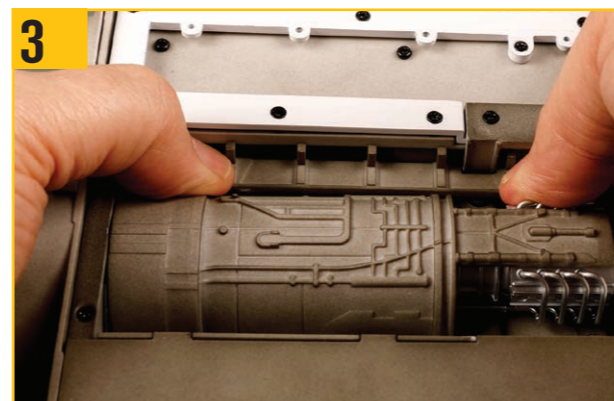
提供される部品はすべてこのステージで使用される。レーザーキャノンを取り付ける前にサブライトエンジンの下のくぼみを装飾し、最後に翼フレームと電気配線を覆う右舷下翼上部を取り付ける。最後にテストを行い密閉する。



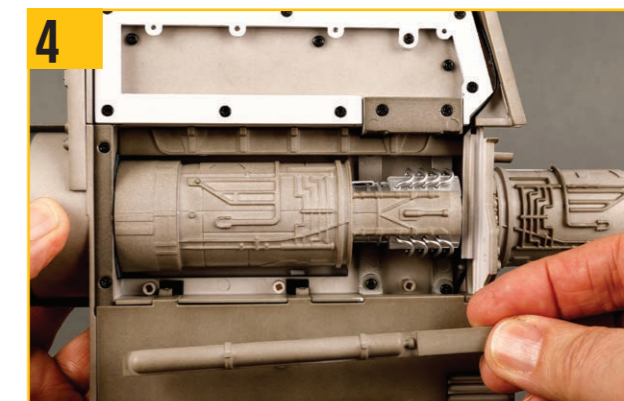
今回提供されたパーツを、前ステージの翼のパーツとレーザーキャノンと一緒に用意する。



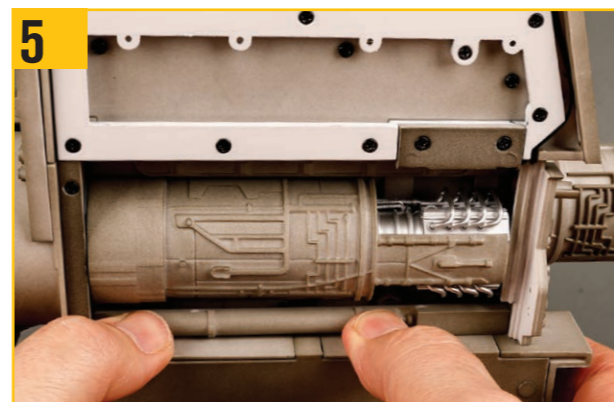
アウターエッジストリップを用意する。下側には3つのピンがあり、これらのピンは、くぼみの写真の対応する穴に適合する。



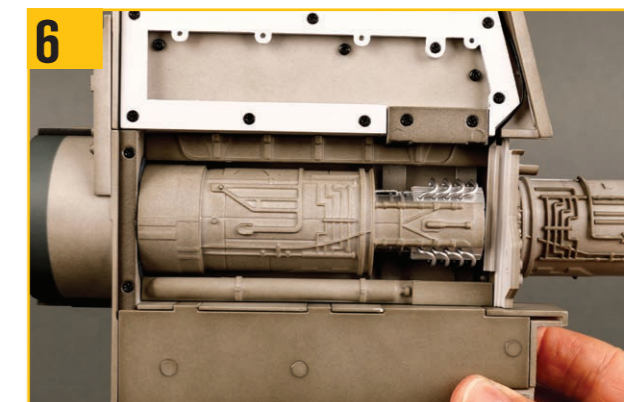
パーツをしっかり押し込む。



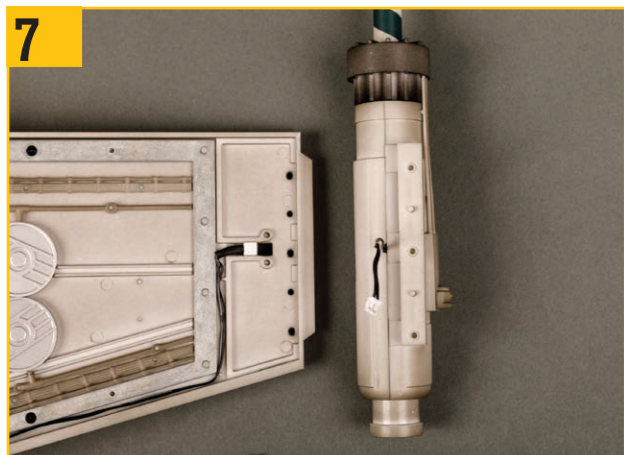
写真のように翼収まるインナーエッジストリップを用意する。



ピンを写真の側の3つの固定穴に押し込む。



組み立て後は写真のようになる。



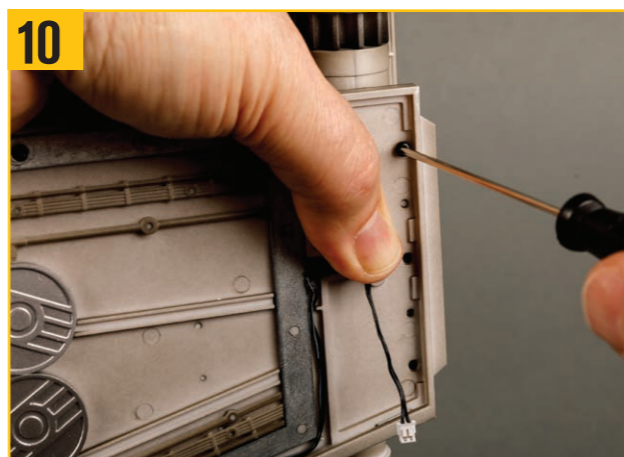
7 レーザーキャノンを用意し、翼端近くの写真の穴を通してワイヤーの端にプラグを取り付ける。



8 ケーブルを穴を通して、大砲の本体にある5つの取り付けラグと位置決めピンを、翼端近くの対応する穴に合わせる。



9 ピンをしっかりと穴に押し込む。



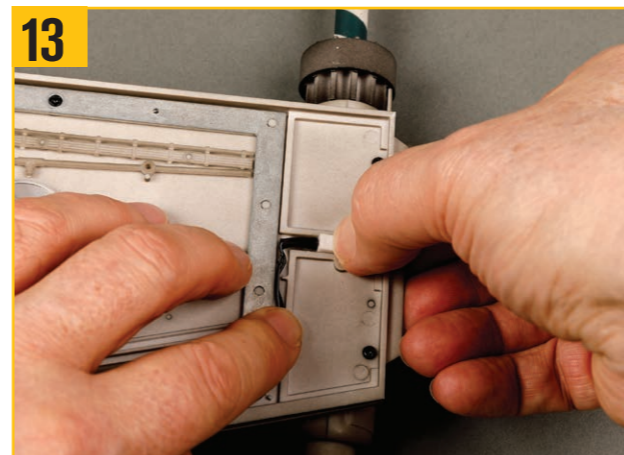
10 2つのパーツをしっかり保持しながら裏返し、写真の穴をXW02ネジで固定する。



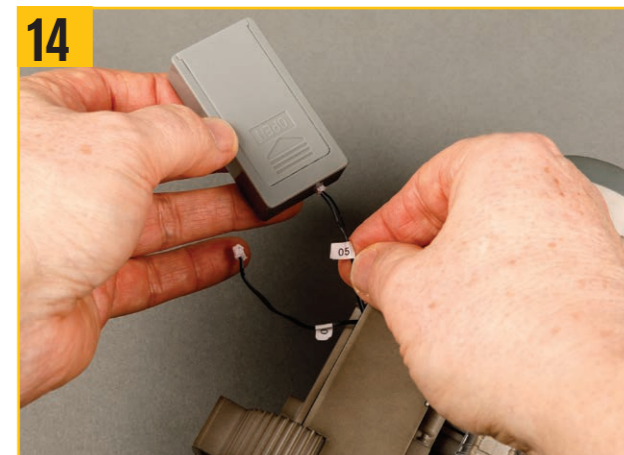
11 残りの2つの穴もXW02ネジでねじ止める。



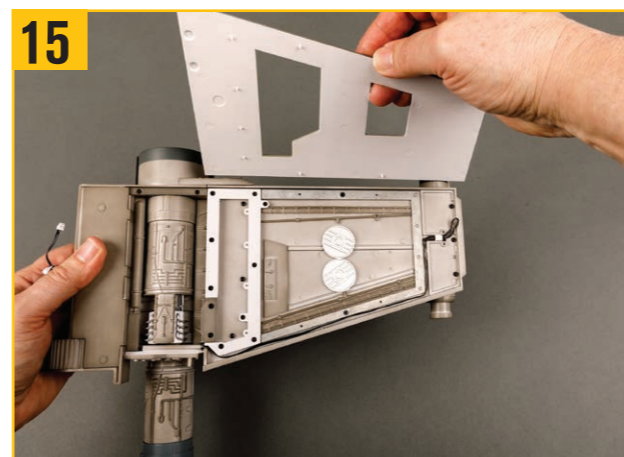
12 下翼の周りを沿わせたケーブルの端にあるソケットを取り、レーザーキャノン側のケーブルの端にあるプラグに差し込む。



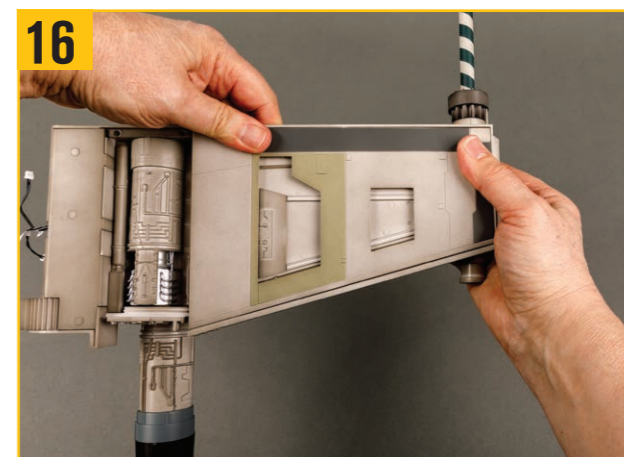
13 プラグとソケットを翼の溝に戻し、余った配線を翼端のくぼみにきれいに押し込む。



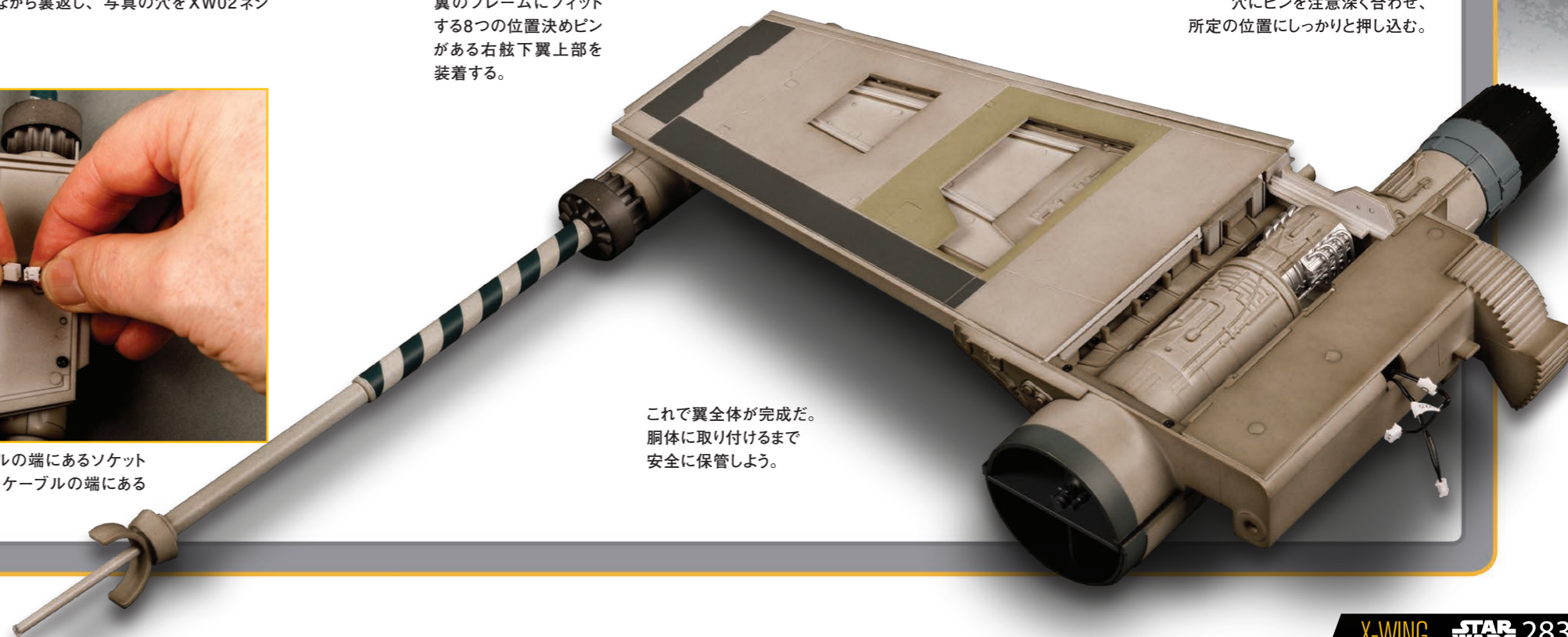
14 以前に使用したバッテリーボックスを用意し、翼のもう一方の端にある両方のプラグをテストして、大砲とエンジンライトが正しく機能していることを確認する。



15 翼のフレームにフィットする8つの位置決めピンがある右舷下翼上部を装着する。



16 穴にピンを注意深く合わせ、所定の位置にしっかりと押し込む。



これで翼全体が完成だ。胴体に取り付けるまで安全に保管しよう。